

## 外郭団体評価調書【公益法人用】

### I. 基本情報

平成20年7月1日現在

団体名	財団法人會津八一記念館				
所在地	新潟市中央区西船見町5932				
電話番号	025-222-7612	代表者職氏名 所属・肩書	理事長 高橋 道映 〔新潟日報社 代表取締役社長 〕		
設立年月日	昭和47年5月8日	所管課	文化政策課		
ホームページ	http://aizuyaichi.nuis.jp/	E-mail	aizu-81@athena.ocn.ne.jp		
基本財産 (資本金)	198,400 千円	その他 出資者	氏名・名称	出資等額	出資等比率
市出資等額	100,000 千円		株式会社新潟日報社	2,400 千円	1.2 %
市出資等割合	50.4 %		株式会社新潟放送	2,400 千円	1.2 %
			株式会社本間組	2,400 千円	1.2 %
			株式会社福田組	2,400 千円	1.2 %
		その他	88,800 千円	44.8 %	
設立目的	會津八一の遺墨、遺品、著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文芸、芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育、学術の交流に資すること				
経営理念 経営方針	會津八一に関する調査研究、諸展覽の開催、諸種の講演会、研究会の開催および印刷物の刊行、記念館の管理、その他法人の目的を達成するために必要な事業を遂行する				

### II. 組織等の状況

#### ① 役職員数

(単位:人)

	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度
<b>役員数</b>	9	9	9	9
<b>常勤</b>	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
<b>非常勤</b>	9	9	9	9
市兼任	3	3	3	3
市職員OB				
他団体兼任	6	6	6	6
その他				
<b>職員数</b>	4	4	4	4
<b>常勤</b>	2	2	2	2
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	2	2	2	2
他団体からの派遣				
<b>非常勤</b>	2	2	2	2
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2

②職員の状況及び年齢構成(役員兼任の職員を含む)

(単位:人)

		合計	市派遣・兼任	市職員OB	プロパー	他団体派遣・兼任	臨時・嘱託等
職員の状況	管理職	2				1	1
	一般職	3			2		1
	合計	5	0	0	2	1	2
年齢構成	20代以下	1			1		
	30代	1			1		
	40代	0					
	50代	0					
	60代以上	3				1	2
	合計	5	0	0	2	1	2

③給与等の概要

給与等の状況	常勤役員の平均年収 千円	常勤プロパー職員給与			
		初任給		平均年収	平均年齢
		大卒 172,200 高卒 140,100	円	3,691千円	30.6歳
常勤プロパー職員の給与体系	現在の給与体系		見直しの予定		
	<input type="checkbox"/>	団体独自の給与体系	<input type="checkbox"/>	有	予定時期 年 月
	<input checked="" type="checkbox"/>	市の給与体系を準用	<input checked="" type="checkbox"/>	無	
		その他〔 〕		その他〔 〕	

④経理の適正化の状況

専門家による監事・監査役就任			専門家による会計指導		
<input type="checkbox"/>	有	就任時期 年度から 依頼先職種〔 〕	<input checked="" type="checkbox"/>	有	依頼時期 18年度から 依頼先職種〔 税理士 〕
<input checked="" type="checkbox"/>	無			無	

Ⅲ. 事業の概要

①主要事業の概要

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
會津八一記念館管理運営事業		公益	受託	會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資することを目的に、會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、および展示(業務仕様書より)			
実施状況	事業費			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度予算
				26,879千円	30,168千円	28,931千円	30,875千円
	活動指標・成果指標		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標
	①	年間入館者数	人	6,583	8,338	8,875	7,900
②	入館料収入(特別展も含む)	円	2,588,560	3,293,680	3,269,620	3,000,000	

\*H18年度は没後50周年事業の要因によるもの

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
特別展自主事業		公益	自主	特別展は、毎年度受託金110万円に加え、自主財源を補填し、會津八一の芸術的世界あるいは学者としての世界を多角的にみせるため他館や個人の収蔵品などを借用し、映像的立体的に展示し図録も作成している。			
実施状況	事業費			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度予算
				4,635千円	6,477千円	5,563千円	4,900千円
	活動指標・成果指標		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標
	①	入館者数	人	2,370	2,844	2,637	2,800
②							

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
文芸講演会事業		公益	自主	館長はじめ會津八一の学芸的世界の研究者らによる講演、芸術家による公演で、より一層、記念館の展示の理解を助け、親しみを持ってもらいリピーターを拡大する。18年度は没後50年記念で仲代達矢氏と市長・館長の鼎談を実施。			
実施状況	事業費			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度予算
				287千円	3,315千円	561千円	1,100千円
	活動指標・成果指標		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標
	① 開催数	回		3	6	7	7
② 聴講者数	人		627	1,872	1,537	1,200	

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
普及活動事業		公益	自主	會津八一の知名度の復興のため、没後50年を記念し全国を対象にした懸賞付き学術論文コンテストを3年ごとに実施。19年度からは「會津八一の歌を映す」写真コンテストを毎年実施へ。			
実施状況	事業費			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度予算
				0千円	1,330千円	4,030千円	2,400千円
	活動指標・成果指標		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標
	① 学術懸賞論文の応募点数	点			5		
② 「八一の歌を映す」写真コンテスト応募点数	点				68	120	

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
学習講座事業		公益	自主	①外部講師による講座＝會津八一の歌を読む会、會津八一・吉野秀雄往復書簡講読会、ペン字体験講座②学芸員らによる出前授業			
実施状況	事業費			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度予算
				0千円	0千円	20千円	0千円
	活動指標・成果指標		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標
	① 外部講師による講座受講者数	人		42	38	65	34
② 学芸員らによる出前授業受講者数	人				130	100	

事業名		区分1	区分2	事業の内容			
販売事業		公益	自主	會津八一の作品の複製、歌集、研究書籍のほかTシャツ、レターセットなど関連グッズの販売により、愛好者や旅行者の思い出の品にしてリピーターの拡大を図る。これに伴い、記念館の自主活動の財源確保をする			
実施状況	事業費			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度予算
				7,021千円	4,145千円	2,293千円	2,000千円
	活動指標・成果指標		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標
	① 年間販売額	円		10,085	4,245	3,816	3,500
②							

## ②その他各種指標

指標の内容	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度 目標・予定	中長期目標	
						目標値	年度

IV. 財務の状況【平成16年改正会計基準】

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
一般正味財産増減の部	経常収益	44,127	47,648	41,496
	基本財産運用益	1,999	2,538	2,578
	受取会費		0	0
	事業収益	38,931	41,260	35,773
	自主事業収益	12,052	11,092	6,842
	受託事業収益	26,879	30,168	28,931
	受取補助金等・負担金	0	300	300
	その他収益	3,197	3,550	2,845
	経常費用	40,980	51,764	43,020
	事業費	38,652	45,541	40,358
	自主事業費	11,280	15,373	11,427
	受託事業費	27,372	30,168	28,931
	管理費	2,328	6,223	2,662
	その他経常費用			
	当期経常増減額	3,147	▲ 4,116	▲ 1,524
	経常外収益	0	0	0
経常外費用	3,961	542	0	
当期経常外増減額	▲ 3,961	▲ 542	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 814	▲ 4,658	▲ 1,524	
一般正味財産期首残高	37,334	36,520	31,862	
一般正味財産期末残高	36,520	31,862	30,338	
指定増減正味財産	受取補助金等・負担金			
	その他	1,999	2,538	2,578
	基本財産評価損益	0	65	65
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 1,999	▲ 2,538	▲ 2,578
	当期指定正味財産増減額	0	65	65
	指定正味財産期首残高	198,400	198,400	198,465
指定正味財産期末残高	198,400	198,465	198,530	
正味財産期末残高	234,920	230,327	228,868	
参考	当期収入	44,127	48,206	41,492
	前期繰越収支差額	9,556	12,203	7,535
	収入合計	53,683	60,409	49,027
	当期支出	41,480	52,874	44,111
	うち収益事業支出			
	うち公益事業支出	38,652	45,541	40,358
	次期繰越収支差額	12,203	7,535	4,916
	人件費	13,569	14,263	14,620
	うち役員人件費	0	0	0

②貸借対照表

(単位:千円)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
資産の部	流動資産	21,350	14,052	11,648
	現金預金	16,083	8,829	6,314
	受取手形			
	未収金			82
	有価証券			
	その他流動資産	5,267	5,223	5,252
	固定資産	220,733	220,630	221,732
	基本財産	198,400	198,465	198,530
	特定資産	22,283	21,851	21,901
	その他固定資産	50	314	1,301
	有形固定資産			1,050
	無形固定資産		264	201
	その他投資等	50	50	50
	資産の部合計	242,083	234,682	233,380

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
負債の部	流動負債	4,879	1,404	1,516
	短期借入金			
	その他流動負債	4,879	1,404	1,516
	固定負債	2,283	2,951	2,997
	長期借入金			
	その他固定負債	2,283	2,951	2,997
	負債の部合計	7,162	4,355	4,513
正味財産の部	指定正味財産	198,400	198,465	198,530
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	198,400	198,465	198,530
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	36,520	31,862	30,339
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)	22,283	21,851	21,901
	正味財産の部合計	234,920	230,327	228,869
	負債・正味財産の部合計	242,082	234,682	233,382

③市財政支出等の状況

(単位:千円)

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	目的, 内容, 必要性, 増減理由等
補助金				
事業費補助金				
運営費補助金				
設備投資に係る補助金				
負担金			80	自主事業「第1回秋艸道人写真コンテスト」共催費
交付金				
委託料	26,879	30,168	28,931	會津八一記念館管理運営に関する指定管理料
貸付金 (期中借入額)				
出資・出捐金 (追加額)				
その他				
合計	26,879	30,168	29,011	
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況(税や使用料の減免, 建物の無償貸与等)				

## ④内部留保の状況

(単位:千円)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
資産の部合計	242,083	234,682	233,380
基本財産	▲ 198,400	▲ 198,465	▲ 198,530
公益事業を実施するために有している基金	▲ 20,000	▲ 18,900	▲ 18,900
法人の運営に不可欠な固定資産	▲ 50	▲ 314	▲ 1,302
将来の特定の支払に充てる引当資産等	▲ 2,283	▲ 2,951	▲ 3,001
負債相当額	▲ 4,879	▲ 1,404	▲ 1,516
内部留保金額	16,471	12,648	10,131

V. 評価の結果

	評価基準数	得点(○の数)	得点率	【自己評価レーダーチャート】 
目的適合性	16	16	100.0%	
経営の自律性	27	19	70.4%	
組織・管理運営の適正性	26	19	73.1%	
健全性	21	16	76.2%	
効率性	14	3	21.4%	
合計	104	73	70.2%	

【団体の評価コメント】

<b>目的適合性</b>	昭和50年の開館以来、東洋美術、書道、短歌など各種の研究者、愛好者に材料を提供し、過去32年間で展示会約84回、文芸講演会約150回を開催。ほかに教育団体、文化団体向けの解説、講座に積極的に協力してきた。伝統文芸に親しむ人口が減少傾向の中、展示は映像、立体物などを駆使し、「八一と生け花」「八一と高村光太郎」などコラボレーションを図り、狂言、一人芝居など舞台ものも導入し、関心を引きつけるチャンネルを多面的に工夫し、入館者の増加を図ってきた。
<b>経営の自律性</b>	計画・実行・評価・改善は日常的作業として実行している。毎月1回は館長を囲んだ企画と改善会議。毎週1回は実行と入館数とアンケート評価意見のチェック。改善できるものは即日実施がモットー。入館者数は棒グラフにして職場内に張り出し、3カ年の比較を意識しながら、広報と連動した改善を続けている。
<b>組織・管理運営の適正性</b>	4人の職員は専門職であり、同時に多能工である。事務長はイベントやグッズの企画、営業、広報、渉外、管理等を担当。総務は経理、渉外、受付、友の会の管理。学芸員は年4回の展示、解説、年6回程度の講演会資料づくりと周辺作業、販売などを担っている。財務は委託している税理事務所が毎月の収入・支出状況をチェックし、それを受けて、借用作品の増減、ポスター・チラシの制作量の加減、出張回数などの調整をしている。
<b>健全性</b>	借入金はない。毎年、新潟日報社から180万円、BSN新潟放送から50万円の寄付を受けている。現金預金はペイオフ対策および金利確保の観点からほとんどを新潟県債を購入し、毎年の金利130万円を確保。普及活動を活発にする一方、これらの財源として、イベントは共催団体、協賛社を増やし、特別展では20年度から図録に広告掲載を導入し、独自財源の充実を図っている。協力企業5社から年間120人分の商品と宅急便費用の提供をいただき、入館者アンケートの回収率向上を図っている。
<b>効率性</b>	広報宣伝は新潟日報の記事が年間20回余、広告約100回(無料、2700万円に相当)の協力がある。BSNも主催者の場合はコマースシャルの提供がある。友の会「秋艸会」の会員は約1000人で、講演会や販売の諸事業を支援。姉妹提携している早稲田大学會津八一記念博物館と共同企画、作品・資料の貸借、情報交換は緊密。奈良の寺院群との交流は長年の蓄積があり、企画面での協力をいただいている。寄付企業、協力企業、秋艸会、奈良の寺院群など、新潟市行政のほかこうした民間ネットワークを大きな経営資源としてしている。小さな記念館が全国的な規模のイベントや展示、広報が出来るのは以上のような背景を活用した企画力によるものである。
<b>総括的な所見</b>	
新潟独特の文化施設は北方文化博物館と會津八一記念館であろう。当館の入館者のうち25%程度が県外在住者であり、文化的観光拠点としての役割を果たしているのではないだろうか。だが、會津八一だけをアピールするだけにとどまらず、新潟県が輩出した近世の文人たちと連動した企画展や講演などの活動も展開し、市民など来館者が新潟、さらには越後全体の文化風土を理解してもらえるような内容にすることで、會津八一へのアプローチするチャンネルを幅広く用意したい。	

【所管課による評価】	<b>目的適合性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名誉市民である會津八一に関する資料を調査研究し、その業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育・学術の興隆に資するといった設置目的は今日でも意義がある。</li> </ul>
	<b>経営の自律性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外郭団体経営改善計画や中長期経営計画に基づいた取り組みを行っている。今後も中長期計画の内容の充実させるべく、所管課としても協力していく。</li> </ul>
	<b>組織・管理運営の適正性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度から会計事務所による定期監査を実施し、より適正な会計処理に努めている。</li> <li>・市職員の派遣やOBの登用などはないが、規程など市に準拠することも多いため、事務処理にあたっては、市のサポートが不可欠となっている。今後は、職員の能力育成の環境を図るよう求めていく。</li> </ul>
	<b>健全性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務については適正に執行されているが、市への財政的依存度が高く、市からの委託料収入が主な収入源となっている。</li> <li>・財政依存度の数値が増加傾向にあることから、引き続き自主財源の確保と自主事業の充実を望む。</li> </ul>
	<b>効率性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人であるから、必ずしも経常利益のみをあげるのみが目標でないと考えるが、なお収入に見合った事業展開や経費の効率的な執行を行うよう求めていく。</li> </ul>
	<b>総括的な所見</b>	

【今後の取り組み】	①	①20年度「會津八一の歌を映す」第2回秋艸道人賞写真コンテスト実施②第2回會津八一賞・全国公募の学術論文コンテスト(20—21年度募集、21年秋授賞式)。③21年度(2010年)奈良遷都1300年祭に際して、奈良市内で會津八一展を展開(日本経済新聞と共催)これらのイベントで會津八一の知名度と新潟文化の全国化を目指す。
	②	①出前授業の実施＝学校と公民館に呼び掛け②會津八一の「学規」の普及＝複製品の販売活発化と朗唱運動③学校への働きかけによる若年層への普及活動＝学校授業としての来館件数増加
	③	自主財源の拡充＝①写真コンテストの協賛社の増加②特別展図録の広告料増加
	④	施設の適正な維持管理を行っていく

【総合評価】	概ね良好	✓	改善・見直しが必要	抜本的な対応が必要
	<b>総括的な所見</b>			
	写真コンテストや出前講座等の新たな事業、共催金や広告料の徴収など、會津八一の普及啓発と財源の確保に積極的に取り組んでおり、入館者も順調に増加している。 しかし、これまでの主な入館者であった高齢層の入館者数が鈍化し、財務では企業からの寄附金等による支援が減少傾向にあるほか、組織として中堅層が手薄であるなど、将来的な懸念材料を抱えている状況である。			
<b>今後の取り組みに対する評価、改善指示事項</b>				
引き続き會津八一の普及啓発・知名度の向上に向けた事業を実施して従来からの入館者の確保と新たな入館者の増加を図る必要がある。加えて寄附金等の減少を補って今後も積極的に事業を継続して行けるよう、必要な財源を安定的に確保していく必要がある。 また、事務職の事務の引き継ぎや公益法人制度改革への対応等を視野に入れ、プロパー職員の採用についての検討を進められたい。				



## VI. 総合評価を受けての団体としての決意

平成20年11月 理事長 高橋 道映

名誉市民會津八一を普及させる大きな課題として、若年層対策に取り組んできた。教育現場に対して、教員へ授業で取り上げていただくよう働きかけ、小学校から大学まで、6ヵ校で参加が軌道に乗り始めている。今後もこの活動を続けていくと共に、より知名度を向上させるため、市内の企業・団体へも職員研修等で會津八一を登場させてもらうよう働きかけたい。20年度から特別展の図録に広告掲載を導入するなど、独自財源の充実を図っており、今後も継続し、普及活動の財源としていく。會津八一の普及の一環として、展示はもちろん、講演会、出前講座、写真コンテストなど盛りだくさんの事業を常勤2名と非常勤3名の職員で、フル回転で遂行している現状である。また、組織の安定的運営を維持するため職員体制について、今後市と本格的に協議していきたい。